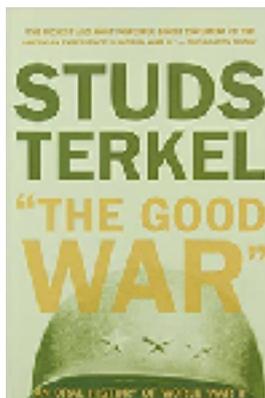


ルサンチカ『GOOD WAR』／『PIPE DREAM』

リクリエーション ツアー公演 企画書



原案

『「よい戦争」』 1985年7月25日出版 晶文社

作 スタッズ・ターケル

訳 中山容 他

【企画趣旨】

・私の祖母が植物状態になったことをきっかけに「社会的に人を人たらしめているものは何か」について考えるべく、京都府立文化芸術会館と協働し2019年から2021年の3年間の事業として「理想の死に方」、「仕事について」、「あの日と争いについて」を不特定多数の人々に取材しての作品制作を継続して行なってきました。これら3つの作品を経て京都府立文化芸術会館で上演した『PIPE DREAM』、『GOOD WAR』を再製作し舞台作品として上演と展示を行います。

・作品製作のためのリサーチを通じて幅広い世代の職業領域の人々交流を行う事により、「生活」と「舞台作品」を組み合わせ、<創造・発信>だけでなく、鑑賞者の<育成・活性化>も包含した企画として、小劇場作品の今後の事業展開におけるコンセプトモデルとなることを目指します。

【作品概要】

・『GOOD WAR』には、私たちが「戦争」と聞いて想像する争いと、社会に実際に存在する争いの両方が含まれています。争いに勝った人、争うことをやめた人、これから争う人、争いから逃げる人が剣闘士として登場し、「よい争い」と「わるい争い」の区別がないことを実感しながらも、自分(や自分の周囲)の生活のために争いを行います。私たちは生きている限り、これからは誰か(または環境)と戦い続けなければいけません。現時点で戦っていないくても、生きている限りいずれ争いに巻き込まれます。『GOOD WAR』ではそのいずれ行われる争いと、過去にあった争いとの向き合い方を鑑賞者と共に考えるべく演劇作品を上演します。

・『PIPE DREAM』は、スタッズ・ターケル著作による『死について!』を原案に用い、多種多様の職業、様々な年齢の人々にインタビューを用い演劇作品を製作する。

作中にある『我々が死についてじっくり考え、死に対する恐怖や希望を語るのは身近な誰かが死に瀕している時か、危ないところで死を免れた時ぐらいなものだ』、『人間誰も自分の理想の死に方で死んで行く権利がある』という言葉を起点に【理想の死に方】についてを生活、仕事を行なっている人を中心にインタビューを行い、それをモノローグとして扱う。この世で理想の死に方を迎えることができる人は、いったいどれくらいいるのだろうか。

【リクリエーション概要】

- ・本企画では『GOOD WAR』、『PIPE DRAM』というモニュメントをリクリエーションかつ上演作品として製作します。
 - ・実際に現地でのリサーチを経て各地に存在する「平和のモニュメント」を起点にする。
- 例えば平和祈念資料館や、原爆ドームは何のために今も残されているのか？
- それは大多数の人々がこれらを忘れてはいけないという納得と、後世に繰り返してはいけないという願いがあるからではないか。
- ではごく個人的な記憶や、言葉、物は全くの他人にモニュメントとしては機能するのか？
- ・上記の展開から舞台作品をミュージアム、あるいはコレクション展として制作することが可能なのかを考えることにした。この企画のためにインタビューしたテキスト(言葉)、レンタル物はもちろん、出演者、スタッフチームの成果物(言葉、身体、表現)を散りばめ、配置していくことで舞台作品の発表ができるのではないかと考えます。

【本事業における取り組み】

- ・スタッズ・ターケルのインタビューにおける連作や、村上春樹の地下鉄サリン事件被害者によるインタビュー書籍『アンダーグラウンド』、イヴ・エンスラーの女性器における取材で制作された戯曲『ヴァギナ・モノローグ』など、これまでも何かを題材として、それらの言葉がインタビューによって時代が記録されてきました。
- 現在も既にコロナ禍における資料として多数の誰かが取材を行なっているはずですが、本事業では取材における方法としては革新性はないかもしれませんが、わたしを含めたほとんどのだれもが経験したことがなく、いずれ経験するかもしれない「理想の死に方」と「戦争」についてを、いま実際に経験したことない人たちに想像してもらうことで、今の日本で考えられている死生観と、遠くで行われている国際的な争いについてを世に発表し、それ批評的に扱います。
- ・『PIPE DREAM』は2019年に神奈川かもめ「短編演劇」フェスティバル2019大賞と第10回せんがわ劇場演劇コンクール 演出家賞を受賞しました。本企画では受賞作品を新たな新作としてプレスリリースします。
- ・ルサンチカは今後の作品制作の方法の発展のために、今後の協働者を探します。本企画では長めの上演期間を設けることで、多くの人に作品を鑑賞してもらうことが狙いにあります。
- ・普段演劇公演を行う経費以外を補填することで、美術の展示、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料にするなど、数多くの鑑賞者に観てもらおう準備、関連企画の充実化を図ります。
- ・2019年の一作目から共に製作を行っている田中愛美、諸江翔大朗、渡辺綾子の他に、前回公演でインタビューイだったロックバンド『台風クラブ』のドラマー、伊奈昌宏に出演と音楽を依頼し、カルチャーを越境することで舞台芸術の分野だけではなく新しい観客層にアプローチします。さらにCAF賞2018入賞などドイツ、台湾、国内外問わずに活躍の場を広げている現代美術家、辻梨絵子を招き、美術制作と作品構成をします。

【会場・公演期間】

・東京公演 こまばアゴラ劇場 ワークインプロGRESS公演

小屋入り日程 2021年12月20日(月)～2021年12月26日(日) 『GOOD WAR』 4st

12月

20日(月) 音響・照明仕込み
21日(火) 美術仕込み
22日(水) 美術仕込み・または休み
23日(木) 場当たり・または休み(出演者が京都から東京へ移動)
24日(金) 場当たり
25日(土) 14:00開演/18:00開演
26日(日) 14:00開演/18:00開演 バラシ

チケット料金

前売り/当日 1000円

・大阪公演 CCO大阪(名村造船所跡)

小屋入り日程 2022年1月22日(土)～30日(日) 『GOOD WAR』 7st

美術展示あり(開場・受付一時間前)

1月

22日(土) 稽古利用(または美術搬入)
23日(日) 稽古利用
24日(月) 音響仕込み 場当たり
25日(火) 場当たり ゲネ
26日(水) 15:30開演
27日(木) 15:30開演
28日(金) 15:30開演
29日(土) 13:00開演/17:00開演
30日(日) 11:00開演/15:00開演 バラシ

チケット料金

前売り2000円/当日3000円

高校生以下一律500円

身障者手帳をお持ちのお客様と同伴一名様までは無料(要予約)

・東京公演 北千住BUoY公演

日程 2022年2月8日（火）～15日（火）

公演日程 2月11日（金）～15日（火）『GOOD WAR』5st 『PIPE DREAM』3-4st

美術展示あり（開場・受付一時間前？）

2月

8日（火） 仕込み

9日（水） 仕込み 場当たり（GW）

10日（木） 場当たり（PD） ゲネプロ（PD）

11日（金） ゲネ（GW） 19：00（GW）

12日（土） 13：00（PD）／18：00（GW）

13日（日） 13：00（GW）／18：00（PD）

14日（月） 14：00（PD）／19：00（GW）

15日（火） 14：00（GW）／17：00（PD）

チケット料金

一般 前売り2500円／当日3000円

30歳以下 前売り2000円／当日2500円

高校生以下一律1000円

身障者手帳をお持ちのお客様と同伴一名様までは無料（要予約）

【クレジット】

演出・構成|河井朗

ドラマトウルク|蒼乃まを、田中愛美

出演| (GOOD WAR) 伊奈昌宏、諸江翔大朗、渡辺綾子

(PIPE DREAM) 河井朗

美術|辻梨絵子

音響|河合宣彦 (大阪公演) おにぎり海人 (東京公演)

照明|松田桂一 (東京公演)

制作|金井美希 (東京公演)

制作協力 | (同) 尾崎商店、黒澤健

記録 | 田中愛美

協力|かまどキッチン、青年団、台風クラブ、ARCHIVES PAY

助成 | ARTS for the future! (東京 こまばアゴラ劇場公演)

おおさか創造千島財団スペース助成 (大阪 CCO公演)

大阪市芸術活動振興事業助成金 (大阪 CCO公演)

アーツカウンシル東京 (東京 北千住BUoY公演)

主催|ルサンチカ

【問い合わせ先】

ルサンチカ

ressenchka@gmail.com 090-6064-0051(代表 河井)